
Wearable Women's Device の提案

遠藤彩良
東京工科大学メディア学部
m0112079a8@edu.teu.ac.jp

伊藤友乃
東京工科大学メディア学部
m01120474a@edu.teu.ac.jp

樋口真帆
東京工科大学メディア学部
m011234158@edu.teu.ac.jp

中野亜希人
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科
akito@sfc.keio.ac.jp

羽田久一
東京工科大学メディア学部
hadahskz@stf.teu.ac.jp



本研究は今までのアクセサリに機能をつけることで、身に付けると同時に美容に対する環境情報が得られるウェアラブル端末の開発を目指す。身に付けて持ち歩くものには、ウェアラブル端末としての機能のみならず、アクセサリのような装飾の要素を含む必要がある。これらの要素が含まれた女性が身に付けやすく、外出先で美容に対する環境情報を得ることができるウェアラブル端末「Wearable Women's Device(WWD)」を提案する。WWDは自身の容姿を美しく魅せ、美容に対する情報提供の機能のみならず、アクセサリと同様に身に付けられる装飾性を持つウェアラブル端末を目指す。「WWD」の1つとして提案するのが、紫外線量を計測するチャームと紫外線の危険度を光で段階的に表すネイルによるシステムである。紫外線計測システムは、紫外線センサをアクセサ

リチャーム内に組み込み、その場の紫外線量を計測する。計測した紫外線量を Arduino によって数値化・UV インデックスレベルに変換する。変換した UV インデックスレベルに応じた色に付け爪に組み込まれている LED が光ることで、その場の紫外線量が視覚的に分かる。安心して屋外で過ごせる場合は青から緑で表す。日中はできるだけ注意が必要な場合は黄色から橙色で表す。紫外線が非常に強く危険な場合は赤で表す。このような機能を持ったウェアラブル端末の開発・提案し、装飾の要素を身につけるだけでなく、その場の環境情報を得ることで機能の要素も身に着けることができる。これにより、女性の美容に貢献できる。